福田美術館 FUKUDA ART MUSEUM SAGA ARASHIYAMA

嵯峨嵐山文華館 Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture

PRESS RELEASE

2021.10更新

福田美術館
嵯峨嵐山文華館

報道関係者各位

企画展開催のお知らせ

木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」

近代の京都画壇を代表する巨匠・木島櫻谷（1877-1938）。
近年、動物画を中心に日本画ファンの枠を超えて人気が高まってきている画家ですが、本展では各地から発見された新出作品54点、文展・帝展出品作品を含む合計100点以上もの作品を、福田美術館と嵯峨嵐山文華館の両館で展示。櫻谷芸術の全貌を通覧できる、かつてない規模の展覧会となります。

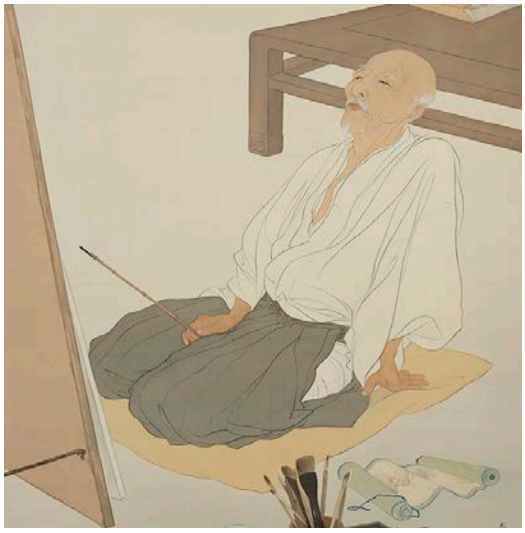
日時	2021年10月23日(土)～ 2022年1月10日(月祝) ○前期/10.23～11.29　○後期/12.1～2022.1.10 10:00～17:00（最終入館16:30）
主催	福田美術館・嵯峨嵐山文華館・京都新聞
後援	京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

作品総数：116点
○福田美術館：65点（前23/後25/通17）
→うち初公開/24点

○嵯峨嵐山文華館：51点（前21/後16/通14）
→うち初公開/30点

※作品点数は変わる可能性がございます

木島櫻谷（1877-1938）は、明治10年（1877）に京都三条室町の商家に生まれました。精緻な花鳥画を描くことで当時の京都きっての人気作家であった今尾景年（1845－1924）に16歳から師事し、師風を受け継ぎながらもその枠内には留まらなかった櫻谷は、動物画や人物画、歴史画までも「究めて魅せた」特別な存在です。明治40年（1907）に始まった文部省美術展覧会（文展）では6年連続で上位入賞を果たしており、文展が帝国美術院美術展覧会（帝展）として改組された後も、審査員を務め活動を続けました。

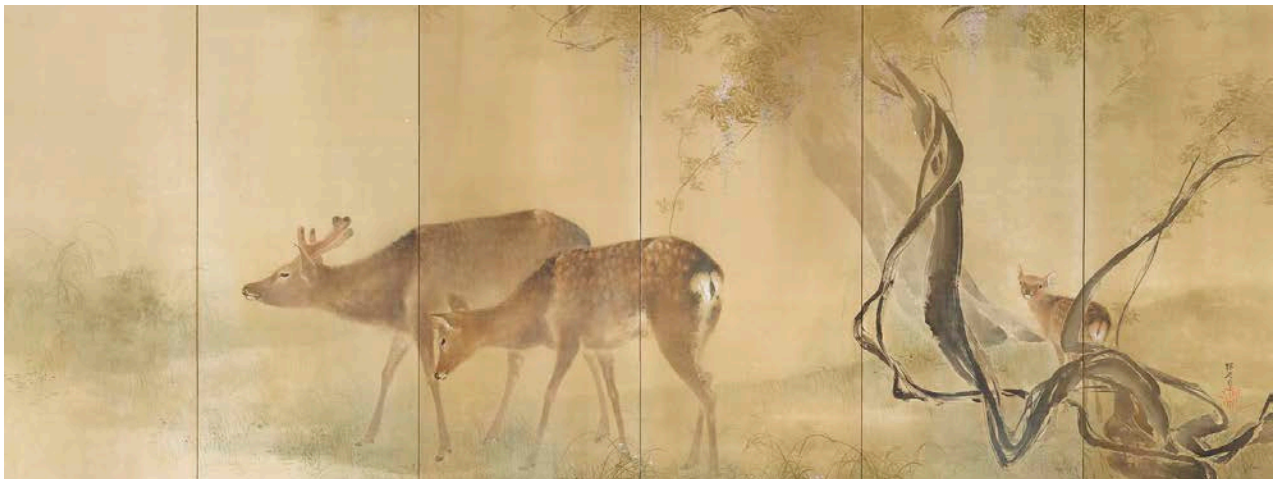


木島櫻谷「画三昧」部分（櫻谷文庫蔵）

第1会場　福田美術館

第1会場の福田美術館では、文展の出品作《駅路之春》（福田美術館）や《和楽》（京都市美術館）、約110年ぶりの公開となる《細雨・落葉》（個人蔵）など57点を展示します。櫻谷を一躍有名にした動物画をはじめ、人物、山水など多岐にわたる作品を通じ、画家としての足跡をたどります。

木島櫻谷「駅路之春」左隻（福田美術館蔵）



木島櫻谷「細雨」右隻部分（福田美術館蔵）

第2会場　嵯峨嵐山文華館

「おうこくさん」と衣笠村の画家たち

37歳の頃、櫻谷は京都市の北西に位置する衣笠へと移住し、晩年は趣味の漢詩に心を寄せつつ制作に励みました。 第2会場の嵯峨嵐山文華館では、公益財団法人櫻谷文庫の全面協力を得て、「おうこくさん」の人となりが偲ばれる作品や遺品を展示。うち24点が初公開となります。また櫻谷に続いて衣笠を拠点に活躍した菊池芳文、菊池契月、堂本印象、福田平八郎らの作品もご紹介します。

木島櫻谷「鴉群飛図」（福田美術館蔵）

木島櫻谷の帽子、トランク、時刻表
（櫻谷文庫蔵）

木島櫻谷「蓬莱山」
（下御霊神社蔵）

菊池契月「浦島」三幅中央
（福田美術館蔵）

堂本印象「観世音菩薩」
（福田美術館蔵）

休館　毎週火曜日・11/23は開館、11/24は休館・年末年始（12/30～1/1）

料金
＜二館共通券＞
一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550
障がい者と介添人1名まで 各¥1,000
＜福田美術館＞
一般・大学生 ¥1,300（1,200）/高校生 ¥700（600）/小中学/¥400（300）
障がい者と介添人1名まで 各¥700（600）
＜嵯峨嵐山文華館＞
一般・大学生 ¥900（800）/高校生 ¥500（400）/小中学生 ¥300（250）
障がい者と介添人1名まで 各¥500（400）　※( )内は20名以上の団体

担当学芸員：阿部亜紀
広報：中島真帆

木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」　プレス用画像一覧_1

01

01
木島櫻谷「駅路之春」
福田美術館蔵
通期：福田美術館

02
木島櫻谷「細雨・落葉」
福田美術館蔵
前期：福田美術館
後期：嵯峨嵐山文華館

03
木島櫻谷「画三昧」
櫻谷文庫蔵
後期：福田美術館

02

03

木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」　プレス用画像一覧_2

04

04
木島櫻谷「和楽」
京都市美術館蔵
後期：福田美術館

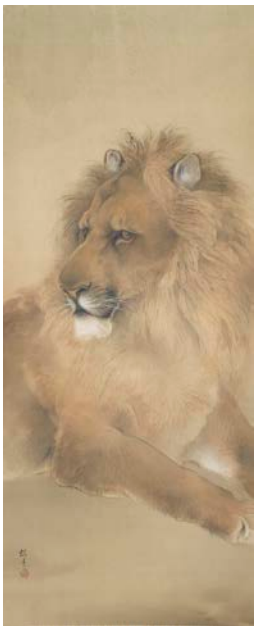
05
木島櫻谷「婦女図屏風」
（左隻部分）
福田美術館蔵
前期：福田美術館
後期：嵯峨嵐山文華館

06
木島櫻谷「獅子」
櫻谷文庫蔵
後期：福田美術館

07
木島櫻谷「秋野弧鹿」
福田美術館蔵
後期：福田美術館

08
木島櫻谷「鴉群飛図」
福田美術館蔵
前期：嵯峨嵐山文華館

05



06

07

08

木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」　プレス用画像一覧_3

09

10

11

12

13

14

14

09
木島櫻谷「灰燼」
愛知県立美術館蔵
後期：福田美術館

10
木島櫻谷「群禽」
京都文化博物館蔵
後期：福田美術館

11
木島櫻谷「春園閑興図」
福田美術館蔵
通期：福田美術館

12
木島櫻谷「蓬莱山」
下御霊神社蔵
通期：嵯峨嵐山文華館

13
菊池契月「浦島」（三幅中央）
福田美術館蔵
前期：嵯峨嵐山文華館

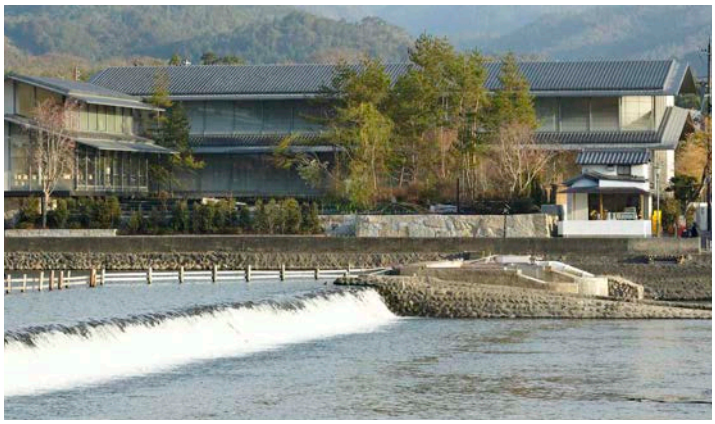
14
村上華岳「墨絵牡丹図」
福田美術館蔵
前期：嵯峨嵐山文華館

15
木島櫻谷の帽子、トランク、時刻表
櫻谷文庫蔵
通期：嵯峨嵐山文華館

福田美術館について

美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。福田美術館は「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指します。
オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しがしたいという想いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了する。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しむことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。



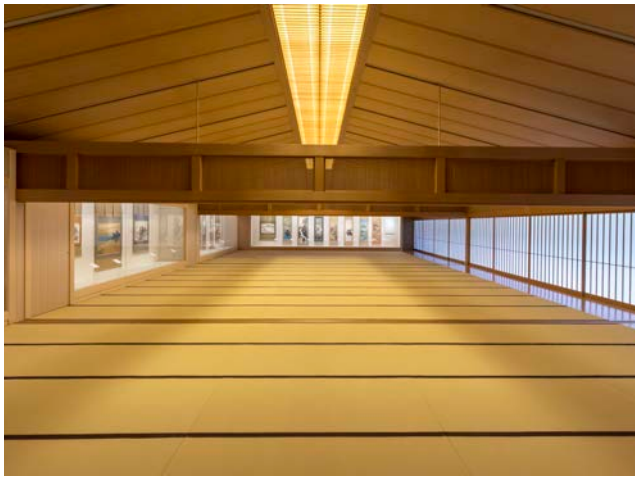
嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。

嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む二階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1F常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介。
また2Fには120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ろぎいただけます。

福田美術館概要

■名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
■住所：〒616-8385　京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
■電話番号：075-863-0606（FAX）075-863-0607
■メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
■ホームページ： https://fukuda-art-museum.jp

■敷地面積：1982㎡
■延床面積：1193.58㎡
・展示室1／151.2㎡
・展示室2／175.4 ㎡
・展示室3／64.5 ㎡）
■交通アクセス：
・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
・阪急嵐山戦「嵐山」駅下車、徒歩11分
・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分

嵯峨嵐山文華館概要

■名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
■住所：〒616-8385　京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
■電話番号：075-882-1111（FAX）075-882-1103
■メールアドレス：support@samac.jp
■ホームページ： http://www.samac.jp

■運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
■交通アクセス：
・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
・阪急嵐山戦「嵐山」駅下車、徒歩13分
・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分

■設立：
2006年「百人一首殿堂　時雨殿」として設立
2011年　一時休館
2012年　リニューアルオープン
2017年　一時休館
2018年　11月1日　「嵯峨嵐山文華館」として
　　リニューアルオープン

本展に関するお問い合わせ

福田美術館・嵯峨嵐山文華館 広報事務局 （ウインダム内）

TEL 03-6661-9448　FAX 03-3664-3833
Email 福田美術館：fukudamuseum@windam.co.jp
　　嵯峨嵐山文華館：samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-28-9-4F
「福田美術館」広報事務局　　担当：沼澤、多田